

# ディベートと議論教育国際研究大会

International Conference on Debate and Argumentation  
Education 2015

日時：2015年3月21日（土）13:00-18:30

2015年3月22日（日）10:00-15:10

場所：九州大学伊都キャンパス比文言文棟3階会議室321号室

主催 ディベート教育国際研究会

九州大学言語文化研究院

日本ディベート協会九州支部

議論教育研究会（JSPS科研費26282054助成）

# ディベートと議論教育国際研究大会

International Conference on Debate and Argumentation Education 2015

日時：2015年3月21日（土）

時間	プログラム	発表者
13:00	開会式	
13:10	ディベート教育と論理教育	青木滋之（会津大学）
13:40	批判的思考による問題解決作の実践 —台湾の競技ディベートを事例として—	石川清彦（台湾・国立屏東大学）
14:10	Debating Debate as a Debater: A Thick Description of a Routine Debate Practice Session in the Kyushu University Parliamentary Debate Section of the E.S.S. Club. (ディベーターとしてディベートをディベートする—九州大学ESSクラブ、パラメンタリーディベートセッションにおける定期ディベート練習の厚い記述—)	Jonathan Borock (ジョナサン・ボロック) (九州大学大学院生)
14:40	日本の大学講座における英語アカデミックディベートの影響 —英語ディベート受講前後の意識変化とその指導実践報告—	鎌田裕文（九州大学/福岡ディベート研究会）
15:05	休憩	
15:30	シンポジウム：議論教育のための基礎研究 【概要】プロジェクト「議論教育のための対話型教材開発に向けた基礎的研究」について紹介し、議論やディベートをWeb上で入力し可視化する方法を検討する。試作サイトを用いてどのようなことができるのか、どのように教育に生かしていけるのか、等について討議を行う。	井上奈良彦／蓮見二郎／山形伸二／金子晃介（九州大学）青木滋之（会津大学） 箕一彦（東京大学）竹中野歩（P&Gシンガポール）
17:00	ワークショップ：ディベートにおける判定の出し方 【概要】ディベートにおけるジャッジの重要性、困難さは広く認識されているところである。このセミナーにおいては、実際のディベートの試合について参加者全員が判定を出し、その判定理由等について討議を行う。	井上奈良彦（九州大学）
18:30	終了 ※ 懇親会会場[イタリア料理店ITRI・ITO（イトリー・イト）]へ	

日時：2015年3月22日（日）

時間	プログラム	発表者
10:00	「ディベートで読む『伊勢物語』」 —第四段「月やあらぬ」の「や」は疑問である—	谷口奈々美（福岡女学院高等学校）
10:30	韓国における日本語ディベート大会の教育的意義 —第三回韓国大学生日本語ディベート大会を中心に—	諏訪昭宏（韓国・釜山外国語大学）
11:00	「日本語ディベートで国際交流」を考察する —アンケートとTAEによる振り返り—	上條純恵（台湾・国立交通大学）
11:30	日本語ディベートにおける審査員教育の課題 —ジャッジインターンプログラムの実践報告を中心に—	久保健二（日本ディベート協会/NPO法人全日本ディベート連盟）
11:55	昼食	
13:00	ディベート教育国際研究会総会	
14:15	ディベートに対するイメージのテキストマイニングによる初歩的分析—日本語を専攻する台湾人学生を例に—	小高裕次（台湾・文藻外語大学）
14:45	ディベート教育について	箕一彦（東京大学）
15:10	閉会式	

問い合わせ：ディベート教育国際研究会 E-Mail : [istdebate@gmail.com](mailto:istdebate@gmail.com) (Facebook : <http://ppt.cc/beZ~>)

事務局：九州大学言語文化研究院ディベート教育研究室

819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学言語文化研究院

E-mail : [debate@flc.kyushu-u.ac.jp](mailto:debate@flc.kyushu-u.ac.jp) 電話：(+81) 92-802-5747